



地域での草刈り奉仕活動

**過疎・高齢化が進み、市道の草刈りなどの作業は大変になる一方だが、補助金が年々減額になっている。市で管理することも考えてほしい。**

市道管理の報償制度は、合併前に旧有漢町と旧川上町のみであった制度です。合併したことで、対象を市内全域に広げ、制度の周知を図っています。

市道管理すべてを業者へ委託することは、経費も膨大となり難しいため、市道の草刈りについてはできるだけ町内会等のご協力をいただきたいと思います。

## 道路の草刈りに報償費を支給します

地域での奉仕活動として行われる市道および市道に準じる農道・林道の草刈りに対して、報償費を支給します。

**対象：**①草刈作業の実施主体が町内会等  
②草刈作業を年度内に2回以上実施した道路

**支給額：**草刈作業の道路延長100mあたり1400円以内

### ■問い合わせ

農林課耕地係 (TEL)②10224)・林政係 (TEL)②10225)、  
建設課管理係 (TEL)②10232) または各地域局産業建設課

ます。  
なお、高齢化で対応できない地域が出てきているので、将来的には市で対応しなければならぬ地域も生ずると思われま

## 上水道と簡易水道の料金の一を。

上水道と簡易水道はそれぞれ独立採算で運営しており、水道料金は上水道基本料金が10トまで1500円/月、簡易水道基本料金が10トまで2000円/月となっております。

両水道会計を統合させて、料金の統一を図っていきたくと考えていますが、時間を要します。

## 市の生活交通体系は、今後どうなっていくのか。

全市域的な交通体系は合併後から検討を進め、昨年9月に今後のあり方を示し、市民の日常生活における移動手段は乗り合いバスと生活福祉バスの2本立てで行う方針としています。

この方針のもと、成羽・川上・備中地域で運行している自治体バスの乗車対象や料金等を統一し、生活福祉バスとして10月1日から運行することになっています。

今後もバス利用者は年々減少

すると考えられ、バス交通を取り巻く環境は厳しくなりますが、一層の利用促進を図りながら安定的な運行を行いたいと考えています。

また、利用促進が図れず、不特定多数の人の移動を支える交通手段としての役割を果たせない路線は、廃止を含めた見直しを行うこととしています。

## 成羽町振興公社を市全域に広める考えはあるのか。

同公社は合併前の平成10年、農地の荒廃防止に行政のバックアップが必要と、旧成羽町で設立されたものです。JAびほくが1500万円、町が3500万円の出資で設立。合併後は成羽地域局に事務局を置き、農業の受委託等を行っています。

将来的には公社の業務範囲を市全域に広げ、公社が受けた作業を地域で行ってもらえればと考えています。JAびほくとの協議が必要ですが、市としては早急に具体的な検討を行っていきたく考えています。

# この一票 私にできる 国づくり

## 参議院議員選挙の投票日

# 7月29日(日)

### 【投票時間】

午前7時～午後6時

### 【期日前投票】

期間：7月13日(金)～7月28日(土)

時間：午前8時30分～午後8時

場所：元市民会館（市役所隣）

および各地域局

※投票所へ行く際は、交通安全に気を付けましょう。

### ■問い合わせ

市選挙管理委員会事務局 (☎0255)

高梁幼稚園の松の木に  
巣をつくっているササゴ  
イのフン害の対策を。

巣がある木は「山田方谷手植  
松(有終館跡)」で市指定史跡の  
ため、伐採はできません。また、  
場所が美観地区でもあり、景観  
を損なわない対策が必要です。

ササゴイは4月～8月に夏鳥  
として渡来するので、その間の  
人間と鳥との共生を考えなければ  
ならないのかもしれないですね。  
引き続き、剪定による営巣し

にくい状態を維持していく方法  
と、路面の清掃活動を続けてい  
きます。

小学校の遊具が老朽化  
しているものがあるが、  
修理や整備などは、どう  
しているのか。

専門業者による点検を2年に  
一度実施し、その結果により、  
年次的に修繕を行っています。  
今年度は、ブランコの修繕を  
重点的に行う予定です。



統合予定の宇治高校

宇治高校と松山高校の  
再編スケジュールは。ま  
た、跡地利用についての  
考えは。

教育委員会の諮問に対し、「高  
梁市立高等学校教育体制等検討  
委員会」から答申をいただいで  
います。答申では次の7点を基  
本方針にしています。

- ① 両校を1校に統合
- ② 昼間、夜間の2部式
- ③ 将来を見通した学校、魅力あ  
る学校づくりを
- ④ 定員は昼間、夜間それぞれ40  
人
- ⑤ 成羽高校跡地を利用
- ⑥ 開校は平成22年4月
- ⑦ 移行は一括転校(2校↓1校  
へ)

なお、開校までのスケジュー  
ルは、左表のとおりです。  
また、宇治高校の跡地につい  
ては、地元の皆さんと十分協議  
した上で、活用計画を策定して  
事業化を検討していきたいと考  
えています。

### 開校までのスケジュール

年度	内 容
H19	教育課程の研究(両校の伝統は尊重)
H20	校名を決定、準備室を設置
H21	教育委員会の規則改正 議会へ設置条例の議案提出 県へ認可申請 学校長を決定 生徒募集(1月～3月)